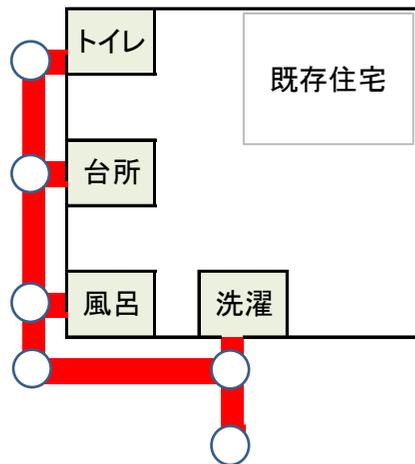


1



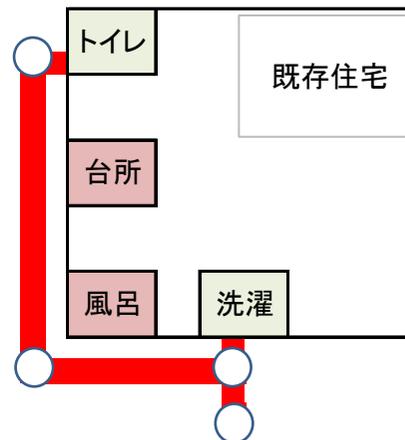
1敷地に1棟

全て接続

■ 新規配管  
■ 既設配管

~~2~~

全部接続されていないため

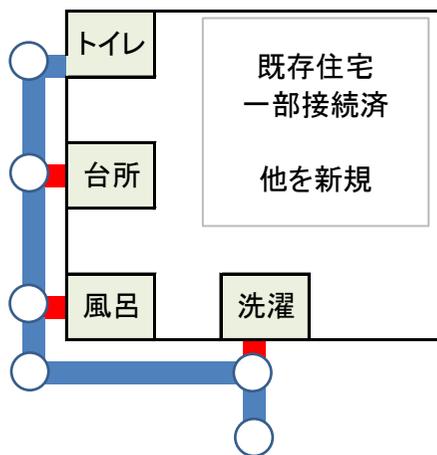


1敷地に1棟

一部接続

3

補助上限額は20万円

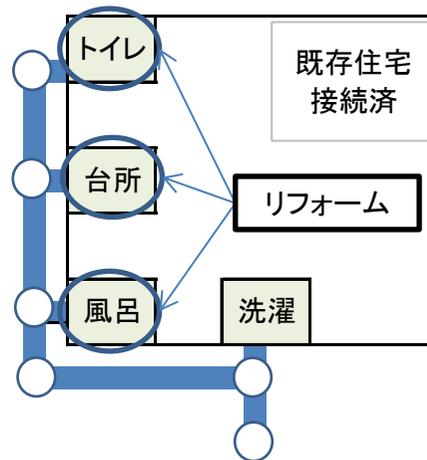


1敷地に1棟

一部接続済の建物において、残り全てを接続。※便槽や浄化槽撤去は伴わないが、既存住宅であり、かつ、**既存設備への接続総数が1→4箇所へ増える**ことから、補助金要綱第14条による例外規定として定め、○とする。なお、補助金種別は、合併処理浄化槽からの転換相当とみなし、上限20万円とする。

~~4~~

水回りの改築(リフォーム)のみのため



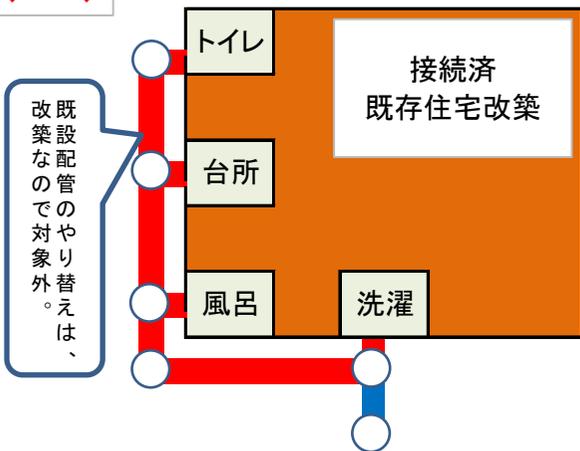
1敷地に1棟

水回りのリフォーム  
(台所・トイレ・風呂等)

~~5~~

単なる改築(リフォーム)工事のため

1敷地に1棟

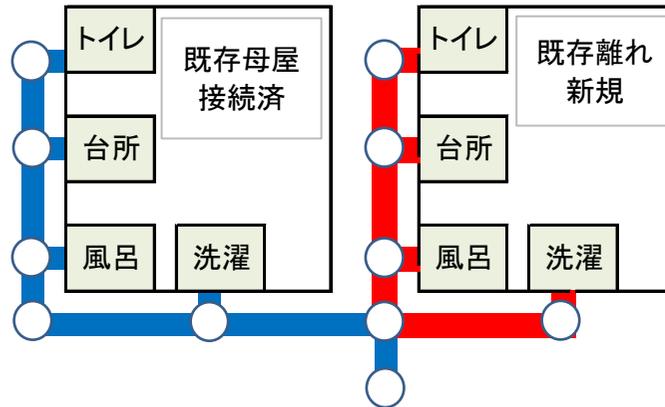


接続済建物の改築。改築にともない、**配管等もやり直した。**  
※既存住宅であるが、既設設備の接続総数は増えない。

■ 新規配管  
■ 既設配管

6

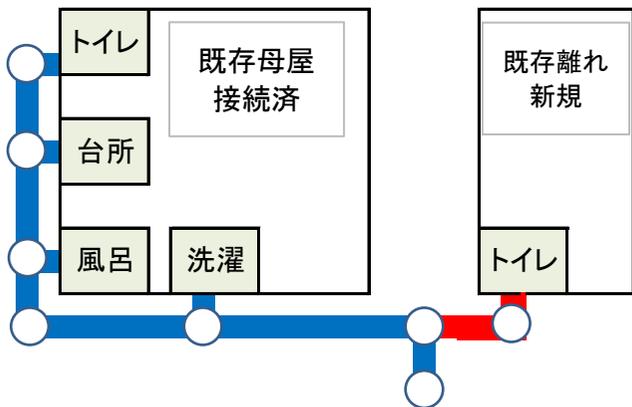
1敷地に2棟



離れを下水道に接続する工事をして、離れ全てに接続した。

7

1敷地に2棟

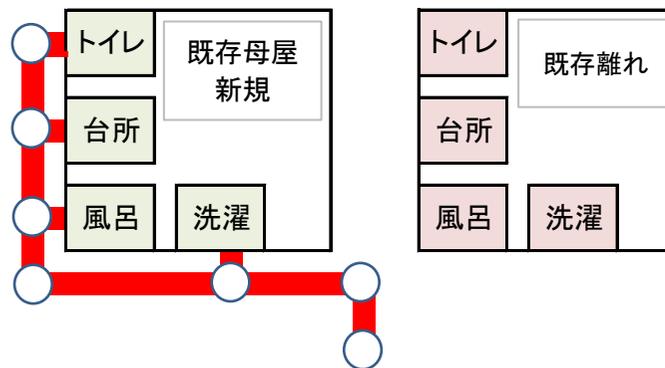


離れの水回りを全て接続する。(この例ではトイレのみの離れ)

~~8~~

離れ未接続のため

1敷地に2棟

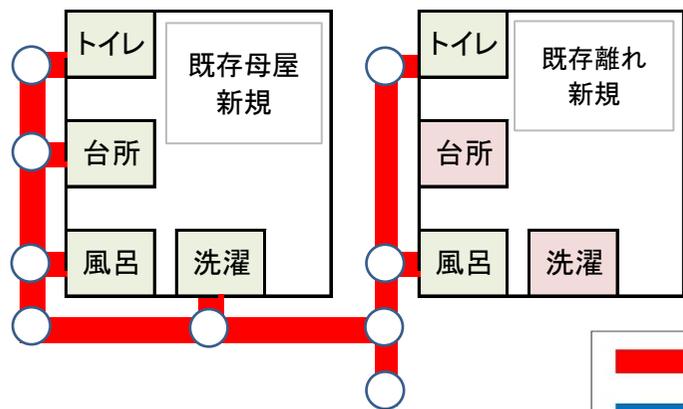


離れ全て接続しない



離れすべて接続でないため

### 1敷地に2棟

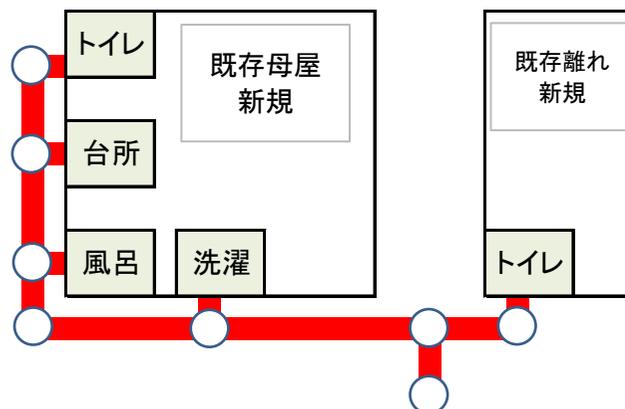


母屋の水回り  
全て接続  
離れは一部  
(この図では  
トイレ・風呂  
のみ)接続

新規配管  
 既設配管

10

### 1敷地に2棟

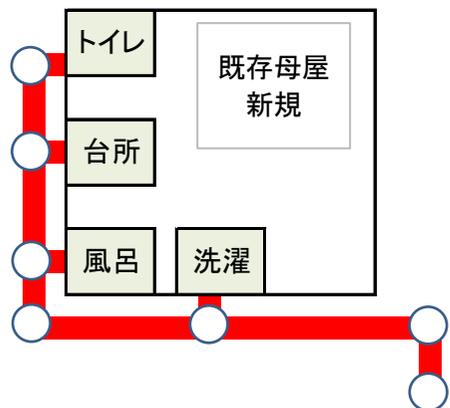


離れにはトイレ  
しかなく、母屋・  
離れの水回り  
全て接続されて  
いる

11

確約書条件

### 1敷地に2棟



既存離れ  
※水回りは  
トイレしか  
ない場合

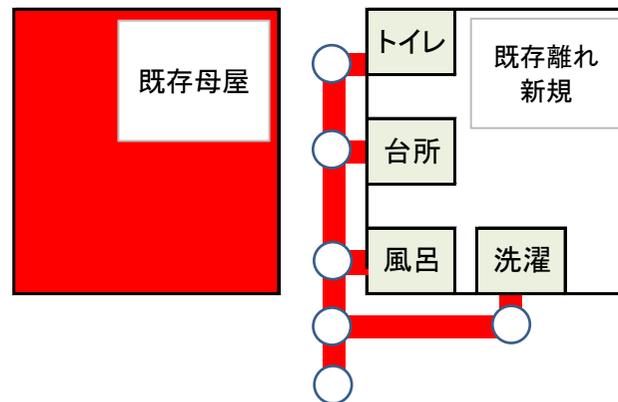
トイレ

離れの設備を今  
後使用しないの  
で下水道に接続  
しない。  
ただし、今後使用  
しないという確約  
書が必要。  
※違反した場合、  
補助金の返還が  
必要。

12

確約書条件

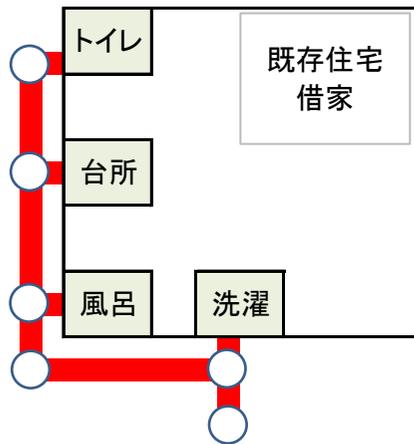
### 1敷地に2棟



母屋は今後使  
用しないので下  
水道に接続し  
ない。ただし、  
今後使用しな  
いという確約書  
が必要。  
※違反した場  
合、補助金の  
返還が必要。

13

1敷地に1棟



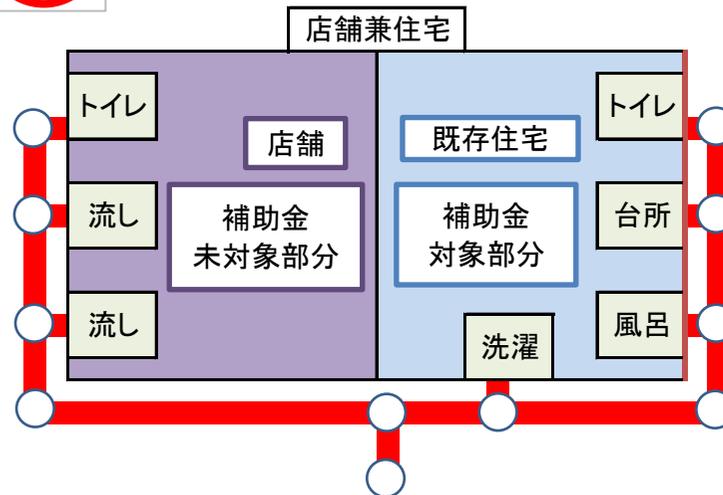
家主(大家)がアパート等を下水へ接続。  
 ※既存住宅に係る転換であれば、営利・非営利を問わない。

— 新規配管  
 — 既設配管

14

※ただし、店舗分は除く

1敷地に1棟

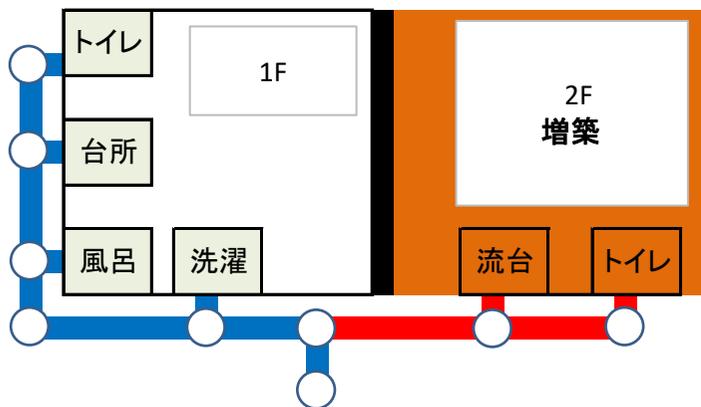


定住が可能な水回りの機能を備えており、且つここに住所を置く場合は、**住宅の部分に限り補助対象とする。**

~~15~~

増築部分にかかる工事のため

1敷地に1棟  
2F増築

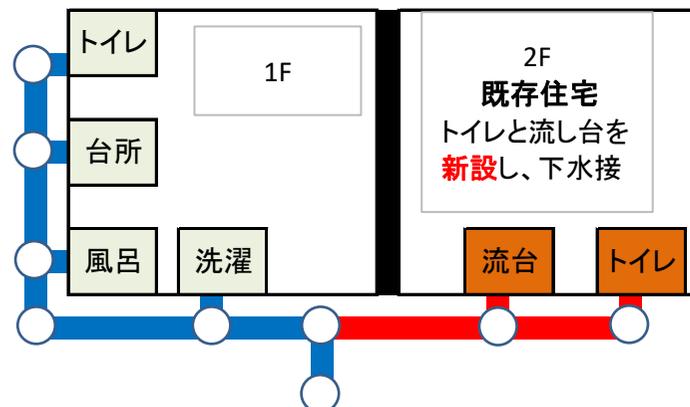


2Fを増築し、トイレと流し台を下水道に接続した。

~~16~~

増築部分(設備のみ含む)にかかる工事のため

1敷地に1棟  
2F住宅



2Fにトイレと流し台を新設し、下水道に接続した。